

## 安全社会のために協力を 社会を明るくする運動

犯罪や非行のない社会を目指す「社会を明るくする運動」の法務大臣メッセージ伝達式は7月1日、市役所で行われました。久慈地区保護司会(柏木睦夫会長)と一日保護司の夏井中生徒会の4人が参加。代表して生徒会長の古屋敷友陽くん(3年)が「安全な社会の実現ために地域の理解と協力を」と願いを込めてメッセージを読み上げました。



山内隆文市長に法務大臣メッセージを伝える一日保護司の古屋敷くん

一日保護司の坂本夕貴さん(3年)は「今回、初めて保護司を知った。地域活動など自分もできることから取り組みを始めたい」と力強く話していました。



「すごい！動いてる〜」ウニやナマコに初めて触れ、子どもたちは大喜び



みんなで笑顔のお持ち帰り。魅力を満喫した参加者は久慈がお気に入りになったようです



「うおっ！こんな風にするの？」初体験のウニの殻むきは驚きの連続。右下・二子産の新鮮なウニ。「おいしー」

## 久慈の魅力にどっぴり

### 首都圏の消費者が本市で交流

首都圏に住む短角牛などの消費者が本市の生産者らと交流する「短角牛の里と都市を結ぶ集い」は7月18日から20日まで開催。食材の流通などを行う「大地を守る会(藤田和芳会長)」の会員49人が参加し、人や自然など本市の魅力にどっぴりつかりました。

恒例の山、川での自然体験や短角牛への餌付けなどに加え、今回はウニの殻むき体験も初めて実施。参加者はウニの生態を学んだ後、二子漁業生産部(中平武雄部長)の組合員から教わりながら、ウニ割り機やサジを使って殻から身をすくい出し、新鮮なウニを口いっぱいにはおぼっていました。

家族4人で初めて参加した小野里茂さん(東京都)は「自然や食材はもちろん、人の良さをとても感じる。久慈が身近な存在になった」と笑顔を広げていました。

## まちの話題をおすそ分け 広報リポーターの突撃取材！

夏は海水浴到来！



親子らでにぎわった舟渡海水浴場

快晴に恵まれた海の日(7月20日)、舟渡海水浴場は大にぎわい。訪れた親子らは海水浴やバーベキュー、砂遊びなど夏の到来を楽しんでいました。海の危険はみんなで監視。お互いに注意し合い海難事故を防ぎましょう。(生平隆リポーター)

釣れた釣れた！



ホタテと一緒に笑顔も釣った清水さん

7月25、26日、もぐらんぴあ周辺を主会場に久慈みなと・夏まつりが開催。ホタテ釣りで清水海里さん(小久慈小5年)が目玉の14連ホタテを釣り上げると会場は大盛り上がり。本人も笑顔でピース喜んでいました。(小倉利之リポーター)

## 対策学んで防災強化

### 久慈川河川敷で水防訓練



釜段工法を完成させた後、特徴や効果を学ぶ消防団員ら

市水防訓練は7月12日、久慈川河川敷で行なわれました。市消防団員や消防署員に加え、管内町村の消防団員も参加。水防専門家の井上博泰さんを講師に迎え、約150人が土のうを用いた水災害への対策法を学びました。実施したのは、河川のはんらんを防ぐための「積土のう工法」と、わき出した水を逃がし水位を調節する「釜段工法」の2つ。消防団員らは初めての工法に試行錯誤しながらも、防災力の強化に向けて真剣な表情で訓練に取り組んでいました。

井上さんは「日ごろの訓練が災害時に活かされる。危険箇所の近くには土のうを用意しておくなどの備えを」と訓練と備えの大切さを訴えていました。

## まだまだ現役！熱戦展開

### シルバースポーツ大会

市いきいきシルバースポーツ大会(同実行委員会主催)は7月10日、総合運動場で開催。約450人のシルバー選手がボール送りやパン食いリレーなど7競技で熱戦を繰り広げました。大会は11地区の対抗戦。選手らは大きな声を掛け合いながら優勝を目指しました。60m・100m競走では大きく腕を振り、陸上選手顔負けの走りを披露する選手も。元気いっぱいのプレーは「まだまだ現役」を感じさせました。

前回に引き続き優勝に輝いた長内チームの戸崎健次郎さんは「力を合わせ、みんなで頑張ったおかげ。これからも健康に気をつけ元気でいたい」と、すがすがしい表情を浮かべていました。



猛烈ダッシュは速い速い！ まだまだ若い者には負けません

## 牛と牛乳の良さ実感

### 夏井小で酪農出前授業



優しくなでなで。かわいい子牛と触れ合う子どもたち。左上・「楽しいー！」容器を振ってバター作り

酪農出前授業(岩手県牛乳普及協会主催)は7月9日、夏井小学校(中居正行校長・児童37人)で開催。児童が牛の体や牛乳の栄養などに理解を深めました。児童は2班に分かれ、牛乳の学習をはじめバター作りなどを体験。2頭の乳牛とふれあう時間では、牛の心臓の音を聞いたり搾乳を体験したりと、興味津々な表情で牛に密着していました。

ずっと離れずに子牛をかわいがっていた欠ノ下大輝くん(5年)は「牛の首のあたりが柔らかくて温かった。牛も牛乳もすごい。これからはもっと牛乳を飲みます」と元気いっぱいに話していました。